第57回総合特別区域評価・調査検討会　議事要旨

日　時：令和４年12月５日（月）10:00～12:00
場　所：永田町合同庁舎　７０３会議室（オンライン開催）
出席者：座長　安藤　光義　　東京大学大学院農学生命科学研究科教授
　　塩見　正成　　公益財団法人大阪観光局マーケティング事業部長
　　下田　吉之　　大阪大学大学院工学研究科教授
　　竹林　幹雄　　神戸大学大学院海事科学研究科教授
　　玉沖　仁美　　株式会社紡代表取締役
　　藤井　さやか　筑波大学システム情報系社会工学域准教授
　　藤田　壮　　東京大学大学院工学系研究科教授
事務局：　　杉山　忠継　　内閣府地方創生推進事務局参事官
　　小林　伸司　　内閣府地方創生推進事務局参事官補佐

＜目標時期到来に伴う総合特区計画の認定について＞
○事務局より、配布資料（資料１、２、３）に基づき、令和４年度に目標時期が到来する総合特区（５特区）について、目標時期到来に伴う総合特区計画の認定を要する特区（５特区）の新計画案と今後のスケジュールについて説明が行われた。
○事務局との質疑応答及び委員間での意見交換を行い、新計画案について本検討会で出された意見を特区に伝え、新計画案へ反映できるものは反映していくことで進めることとなった。

＜現地調査の実施状況について＞
○事務局より、配布資料４に基づき報告し、委員間での意見交換が行われた。
○なお、現地調査に参加した委員等からの主な補足コメントは以下のとおり。
・あわじ環境未来島総合特区について、ソーラーパネルを維持するには長期的に見てコストがかかるため、撤去も含めたメンテナンス方法についても考慮することが必要である。
・ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区について、以前よりも、個々の取組が相互に連携をして全体を推し進められているように感じた。
・ハイパー＆グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区について、国土交通省港湾局と十分な意見交換を行い、できるだけ速やかにバルク船の大型化に対応することが望まれる。
・ながさき海洋・環境産業拠点特区について、ハイブリッド型LNG船のような新エネルギー型船舶に力を入れるなど、実現可能なロードマップの策定を検討いただきたい。
・さがみロボット産業特区について、今後パレタイズ（パレットを用いた物流の規格化）

されることが予想されるので、きちんとそれに対応できるよう推進していただきたい。

以上